

事務事業名 環境問題啓発事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：359

施策：	07	循環型・脱炭素社会の推進	財務コード	01040106-03-309
基本事業：	03	自然環境の保全と意識の醸成	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	環境保全活動を行っている事業所数 自然環境学習の参加者数		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民		環境に関する絵画を小中学生から募集し、環境問題を考える機会とする小学4年生を対象とする環境学習の副読本「地球にやさしくなる本」を作成し、環境問題の教材として配布する 自然とふれあい、学習する機会を提供し、人と自然が共存する重要性を認識してもらうことを目的に環境指標の森での自然観察会、星空観察会、水辺観察会を行う 環境フェアの開催により、環境保全やごみ減量などの啓発を行う 小学生に出前講座を開催し、環境に関するカリキュラムを支援する				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
環境保全活動が自主的に行われるよう市民の環境問題に対する意識を向上させる。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
観察会参加者数	人	295	448	260	450			135
市内の自然環境に満足していると回答した市民の割合	%	46.5	46.7	47.5	48			52

5. コスト									
事業費	計	千円	575	1,067	1,318	1,510			
	国	千円		0	0	0			
	県	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円	575	1,067	1,187	1,510			
一般	千円		0	131	0				
正職員人工数	人工		0.9	0.9	0.9				
正職員人件費	千円		7,034	7,221	7,543				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		7,609	8,288	8,861	1,510			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	観察会参加者数は前年度より153人増加し448人、市内の自然環境に満足していると回答した市民の割合は前年度より0.2%増加し46.7%でした。参加者数の増加の原因としては、環境出前講座を実施する小学校が増えたことによるものです。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	令和6年度に環境副読本を小学生にとってより見やすいよう大幅に見直しを行いました。環境副読本や出前講座は小学校で活用されていて好評です。					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄							
第三次環境基本計画を策定し、環境目標を達成するため、各種の環境啓発を行う。また、環境問題の解決のため、市民・市民団体・事業者などと協働、連携を深め取り組みを進める。									